

会議録抜粋他 説明用資料 1

なぜ建て替えか

【6月】「平成27年度に耐震診断を行い、耐震補強が必要というふうになっております。第1スタンドの耐震改修工事を行い再利用することも視野に入れ、検討のほうは行っておりますが、耐震改修工事につきましても、観客席やお客様が使用する通路に耐力壁や筋交いが入ることにより、観覧されるお客様に対し支障が生じる。また、建設時より50年以上経過し、老朽化が著しいため、耐震補強工事のみではなく、全面改修工事も必要。しかしながら改修工事を施しましても、建物の躯体の耐用年数が延びることがないこと。また現在、入場者が減少していることから、現存の床面積は必要ないために、面積を小さくし、コンパクト化を図ることにより、今後の維持管理費を抑えることを目的として、建てかえる。

【9月】耐震調査でコンクリートの劣化具合を調査した結果、コンクリートが中性化しているというふうな結果が出ており、施設そのものの耐用年数は延びないというふうに考えている。

9月議会で耐力壁や筋交いなどによる支障が生じないことは確認済み。出せる費用を決めて改修すべき。耐用年数延びない理由も不明。 資料：メインスタンド耐震診断

なぜ立ちどまることができないのか

【9月】A 第一義的には3月の予算議会において、本事業への賛同をいただいていること。

事業規模も、現在の入場者数よりコンパクトなものとしていること。

整備スケジュールについては関係団体と密に連絡をとり、他場での開催との調整を図り、進めている事業であり、立ちどまることで全体スケジュールにおくれが生じること。

またおくれが生じた場合に、他場での開催に支障を来し、開催日の増減だけではなく、選手のあっせん、包括委託のトーターの業務、また場内食堂や情報協会の営業など、その影響範囲が多岐にわたること。

このような問題が生じることが想定され、早急に解決できるものではないと判断したため

他場でスケジュール変更事例あり。開催スケジュールは動かさずに対応しては。

財政シミュレーション・施設整備計画・経営計画

【6月】Q 昨年8月7日に経済建設委員会に出された試算以外はないと聞いていいのかどうか。

A 昨年経済建設委員会に提出させていただいたシミュレーション以外のシミュレーションはない。

【12月】Q 資金繰りや整備計画、経営計画について、情報公開請求をしたが、ないとの回答。

計画なしの大型投資はあり得ない。

【6月】Q 経費の使い道の割合はどうなっているか。

A 100円の車券の内訳は、配当70円、選手賞金5円、人件費0.3円、開催経費19.9円、交付金2円、純利益2.8円。

Q 本場で売れた車券6億5600万円による利益はいくらか？

A 1800万円。

Q メインスタンド36億円をレース場で生まれる利益で返済すると何年かかるのか。

A 36億円に対して1800万円だと200年となる。

過剰な投資？ 浜松は20億円。

資料：売上推移試算等・R3小型自動車競走場メインスタンド棟改築事業／浜松市

一般会計への繰り入れはいつになる？

【6月】Q もともとの目的である市の財政への寄与については、いつから？

A 赤字解消に努めながら必要な施設改修、改善を行っているところですので、いつからとは、現在申し上げることができませんが、少しでも早く一般会計への繰り入れができるよう努めてまいりたい。

Q 累積赤字がある間、起債を返していく間は、繰り入れまではいかないと思いますが、いかがですか。

A おっしゃるとおりでございます。

【9月】A 起債償還が終わってからという考えに立てば、令和23年度からということになりますが、赤字解消後の収益の活用方法により、繰り入れ時期は前後するものと考えております。

これから20年繰り入れなし 他の施設更新があり、更に後ろにずれる可能性大

その他の施設

【9月】A 第2スタンド及び選手宿舎の試算は、当然必要とは考えておりますが、まずはどういった対応をするのか、方向性や整備計画といったものの策定が必要であると考えており、費用面については、方向性や整備計画から算出されるため、現時点において費用の算出は行っておりません。

A 今後、建てかえ、改修や解体等の何らかの工事が必要と思われる施設は、選手宿舎、競走車保管庫、第2スタンド、中央食堂等があるが、計画を作成していないため試算はしておりません。

方向性や整備計画の策定はメインスタンド建て替えの前にすべき

選手宿舎

【6月】A 解体や建設についての費用のほうの積算を行っておりませんので、ちょっと把握ができておりませんが、川口オートが平成10年度に選手宿舎を競走会事務所やイベントホールとの複合施設として建設、鉄筋コンクリートづくりで延べ床面積が2万40平米。工事費は104億4千万円。

資料：耐震診断報告書(選手寮)・⑤耐震補強計画に関する報告書(選手寮) 問題あり早期に対応必要。

維持管理費

【9月】Q 改修前後のランニングコストはどれだけ違うのか。

A 光熱水費は年間約1910万円。建てかえ後は、年間約588万円となり、年間1323万円の減。

10年で1億3千万円、20年たっても2億6千万円。

他場の状況

【12月】Q 川口 令和2年度から市への繰出金なし。耐震及び老朽化した施設の改修を目指して、

今後しばらくの間、基金への積立てを行っていく。令和2年末基金残高29億円。施設改修に当たっては、主な財源として公営競技事業運営基金を活用しながら進める。しかし、全部の財源を基金で賄うことは困難であり、早急に財源計画を含めた施設整備計画を策定の上、基金のほか、国庫補助金や地方債などを活用して事業を進めたい。

伊勢崎市 運営基金は約5億円 今後、選手宿舎改修費約8億円、レース関連経費等々を含めて15億円を目標として積み立てる。

浜松市 メインスタンドの建て替え中、事業費約20億円。財源は小型自動車競走事業基金、令和2年末で20億3097万円。繰出金も5千万円。分割発注

尼崎市 ボートレース事業経営計画、現在は60億円を内部留保し施設改善をやっていく

立川市 施設改修基本計画(40億円規模)繰出金も平成17年以降1千万円、平成27年以降1億円。

資料：尼崎市ボートレース事業経営計画 P20「収支計画から導出される充当可能財源を考慮し、施設改修に使用する金額を決定する。」

大きな方向性は次の3つ

- 1 メインスタンドや選手宿舎などを建て替え続けて、市に長い間、お金を入れない。
- 2 メインスタンドは耐震改修など最低限に抑えて、なるべく早く市にお金を入れる。
- 3 レースをやめて住宅や工業団地など他に使う。

その他の論点

オートレースの目的は？

リスク要因が多くないか？

施設規模は妥当か？

発注方法は妥当か？

費用は妥当か？

代替案はないか？

参考 ネット署名サイト voice <https://voice.charity/events/297>

飯塚市は飯塚オートレースの36億円スタンド建設を中止し、経営計画書を作成して議会で議論して欲しい。